

令和4年度  
中城湾港泡瀬地区環境保全・創造検討委員会

第1回 委員会資料

令和3年度 第1回  
泡瀬地区人工島供用にむけたワークショップ  
議事次第および議事概要

令和4年6月3日

内閣府沖縄総合事務局開発建設部  
沖縄県土木建築部  
沖縄市東部海浜開発局



# 令和3年度 第1回 泡瀬地区人工島供用に向けたワークショップ 議 事 次 第

日時：2021年11月12日（金）14:00～16:00

場所：沖縄 IT 津梁パーク 第1・2・3会議室

## 議 題

1. 令和2年度第1回ワークショップの振り返り
2. 野鳥園、学習センター等緑地に関するご意見への対応方針
3. 干潟等の利用に向けた取り組み
  - ・昨年度実施した試験運用
  - ・今年度実施予定の試験運用
  - ・中城湾魅力づくりプロジェクト 令和3年度活動報告
4. その他
  - ・事業進捗状況及び令和3年度工事

### 配布資料

- |        |                            |
|--------|----------------------------|
| 資料-1   | 令和2年度第1回ワークショップの振り返り       |
| 資料-2   | 野鳥園、学習センター等緑地に関するご意見への対応方針 |
| 資料-3   | 干潟等の利用に向けた取り組み 試験運用の紹介     |
| 資料-4   | 中城湾魅力づくりプロジェクト 令和3年度活動報告   |
| 参考資料-1 | 事業進捗状況及び令和3年度工事            |

令和3年度第1回 中城湾港泡瀬地区  
人工島供用に向けたワークショップ 参加者名簿

【敬称略】

氏名	所属・役職	備考
古謝 加代子	東桃原自治会 自治会長	
桑江 良尚	泡瀬自治会 自治会長	
仲地 清	高原自治会 自治会長	
仲眞 紀子	泡瀬第三自治会 自治会長	
仲宗根 榮子	大里自治会 自治会長	ご欠席
仲宗根 昇	与儀自治会 自治会長	
宮里 和夫	比屋根自治会 自治会長	ご欠席
高江洲 義憲	泡瀬第一自治会 自治会長	
平良 光範	泡瀬第二自治会 自治会長	
知念 信恒	古謝自治会 自治会長	ご欠席
加賀美 英志	海邦町自治会 自治会長	
當眞 一男	泡瀬復興期成会 事務局長	
小渡 兵衛	沖縄市漁業協同組合 組合長	
外間 尹孝	南原漁業協同組合 組合長	
當眞 嗣蒲	中城湾魅力づくりプロジェクト 会長	
伊佐 眞一郎	中城湾魅力づくりプロジェクト 副会長	
當眞 嗣博	中城湾魅力づくりプロジェクト 事務局長	
金城 諭	一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 事務局長	ご新任
中根 忍	やんばるエコツーリズム研究所 代表	
山里 祥二	NPO 法人コーラル沖縄 理事長	
内閣府 沖縄総合事務局		
沖縄県 土木建築部		
沖縄市 東部海浜開発局		

# 令和3年度第1回泡瀬地区人工島供用に向けたワークショップ

## 議事概要

日時：令和3年11月12日（金） 14:00～16:00

場所：沖縄 IT 津梁パーク 第1・2・3会議室

### 【参加者】

〈地元自治会長等〉

古謝自治会長（東桃原自治会）、桑江自治会長（泡瀬自治会）、仲地自治会長（高原自治会）、仲眞自治会長（泡瀬第三自治会）、仲宗根昇自治会長（与義自治会）、高江洲自治会長（泡瀬第一自治会）、平良自治会長（泡瀬第二自治会）、加賀美自治会長（海邦町自治会）、當眞事務局長（泡瀬復興期成会）、小渡組合長（沖縄市漁協）、外間組合長（南原漁協）、當眞嗣蒲会長、伊佐眞一郎副会長、當眞嗣博事務局長（中城湾魅力づくりプロジェクト）、金城事務局長（沖縄市観光物産振興協会）、中根代表（やんばるエコツーリズム研究所）、山里理事長（NPO 法人コーラル沖縄）

〈事務局〉

内閣府 沖縄総合事務局

沖縄県 土木建築部

沖縄市 東部海浜開発局

### 【配布資料】

資料-1 令和2年度第1回ワークショップの振り返り

資料-2 野鳥園、学習センター等緑地に関するご意見への対応方針

資料-3 干潟等の利用に向けた取り組み 試験運用の紹介

資料-4 中城湾魅力づくりプロジェクト 令和3年度活動報告

参考資料-1 事業進捗状況及び令和3年度工事

### 【主な内容】

1. 令和2年度第1回ワークショップの振り返り（資料-1）
    - ・前回ワークショップの実施内容について確認した。
  2. 野鳥園、学習センター等緑地に関するご意見への対応方針（資料-2）
    - ・地域住民から収集したご意見に対する事務局の対応方針について説明を行った。対応方針については別紙を参照。
    - ・対応方針に対していただいた主なご意見は次の通り。
- ① 塩づくり文化の伝え方
- ・クミ跡について検討中とあるが、いつごろまでにというしっかりとしたアクションプランをたてて発表してもらえるとよい。（中根代表）
- いつまでというプランはできてない。市の文化財指定は審議会に諮る必要がある。アクセス道路、環境的な取り組みなどの把握が必要。海の上で土地ではないのでどのように整備するか考える必要

がある。沖縄市教育委員会と相談しながら進めたい。(市東部海浜開発局)

- ・ クミ跡は残っているのではなく、残している。文化財指定すると手つかずになってしまう。触っていけないだと保存する意味がない。堆積物の下には塩田がそのまま残っているはず。何らかの形で手を入れて整備する必要がある。工夫すれば、ランドマークとして残していけるのではないか。(當眞会長)

→風化してしまうというのはわかるが、手をつけるとなると文化財として保存は出来ないと聞いている。保存というより保全だと考えている。復元という形になるかもしれない。文化財指定は現時点での対応であるが、作り込んでしまうと文化財指定ができない。また地元住民と相談しながら進めたい。(市東部海浜開発局)

- ・ ハード面で予算に合わして入浜式で伝えないといけない。入浜式で苦労して塩を作った文化を伝えたい。水が汚くて塩が汚れるというが、ろ過したらできるはず。(高江洲自治会長)
- ・ 沖縄市全体の問題であり、東部地域全体の希望として申請してもいいのではないか。本当の文化を伝える場所が必要。(中根代表)

→ヒアリングしたうえで、環境保全の観点からも先ほどの意見対応となっている。文化を継承するためにはどのようにしたらいいか考えると、模型展示等の方法があると考えている。(県港湾課)

- ・ ソフト面でいうと塩田と語り部の発掘を合わせてやっていく。ハードだけ出来ても伝える人がいないと意味がないので、ソフト面も併せて検討して欲しい。(山里理事長)

## ② 環境学習センター、環境学習等

- ・ 関係者間で検討するとあるが、実現に向けて県としても前向きに取り組むという姿勢が欲しい。地域住民は完成を心待ちにしている。地域住民は地域の活性化につながると思っている。(桑江自治会長)
- ・ 何年までにここを決定していきたい等、今後のスケジュールがあれば伺いたい。(山里理事長)
- ・ すでに検討に検討をかさねている。再検討なら代案を示すのが当然。検討してできませんではなく、もっと前向きに進めてほしい。(伊佐副会長)

→環境学習センターが歴史文化の継承、人材育成など複合的な施設となっているということをまず把握した。どのような施設なら出来る、出来ないということを検討している。今後は持続して利活用していくための体制づくりをやっていきたい。皆さんから意見を伺いどのように進めていくか検討していきたい。(県港湾課)

## ③ 野鳥園

- ・ 水辺の鳥は干潟との密接な関係が強く、石積み護岸では矛盾が生じる。マングローブを配置したり、その中に観察小屋を設置したりすればよいが、園路で取り囲むようでは鳥が警戒する。淡水池はランニングコストがかかる。水鳥を呼び込むのであれば淡水池にこだわる必要はないのでは。(小渡組合長)

→いただいた意見を参考に実施設計をしていきたい。(県港湾課)

## ④ 野鳥園以外の緑地(海浜緑地、外周緑地)

- ・ 野鳥園と環境学習センターは一体化した施設だと思うが、検討委員会はセンターのみを検討するの

か。(山里理事長)

- ・ 検討をばらばらでやると、バーベキューやキャンプと鳥の観察場所が隣り合う非現実的なものになる。できればトータルでゾーニングしていく委員会にした方が良いのでは。(中根代表)  
→野鳥園と環境学習センターは一体だと考えている。ただ、一遍には難しいのではと思うので、分けて検討するかどうかとも考えていきたい。(県港湾課)

### 3. 干潟等の利用に向けた取り組み

#### (1) 試験運用の紹介 (資料 - 3)

- ・ 昨年度のワークショップ開催以降に行った凧作り・凧揚げの実施状況、評価および課題を報告した。
- ・ 今年度実施予定の試験運用を紹介した。

#### (2) 中城湾魅力づくりプロジェクト 令和3年度活動報告 (資料 - 4)

- ・ 当真事務局長より、今年度実施予定の試験運用である12月18日予定の凧作り・文化学習会と1月8日予定の凧揚げの実施計画、およびプロジェクトのNPO法人化の進捗状況をご報告いただいた。



【以上】